

試験会場名： 東京
受験外国語： 中国語
試験開始時刻： 13 時

質問内容

1. 名前は？
2. どこに住んでいますか？
3. どこで中国語を勉強したのですか？
4. (答:台北です) どうして、北京で勉強しなかったのですか？
5. 仕事は中国語と関係がありますか？
6. (答:縫製工場です) では、中国人がいるのではないですか？
7. (中国人を受け入れることで) 生活上、何か困ったことがありますか？
(ありません。ここから中国人に対しての雑談に入りました。和やかな雰囲気でした)
8. では、台風が来たとき、その中国人たちにどのように言いますか？
9. 温泉に入る時にどんな説明をしますか？
10. 東京の交通機関について話して下さい。
11. (日本語で) どのようなガイドになりたいと思いますか。

受験の感想

試験官2名。30代後半から40代前半の優しい中国人男性と50代ぐらいの日本人女性の2名でした。

話す中国語は入門者向けではないかというほど、ゆっくり丁寧に話してくれましたので、緊張感もなく、終始和やかで楽しくでき、あっという間に終わってしまったという感じです。

「縫製」の発音が悪くて2回ほど聞き返された場面もありましたが、だからと言って雰囲気も悪くならず、逆にここから話題が進展しました。台風の時の注意事項として、「雨戸を閉める」の雨戸の単語が分からなかったのも、そのまま日本語を漢字読みで言ってしまったので、「雨戸」が何か分からなかったのではないかと思います。また「物干し台を横に倒して置く」という表現が出てこなくて、ジェスチャーを交えて説明しました。今思えば、物干し台がある家は戸建てに住んだことのある人ではないと分からないことかもしれませんので、他のことを注意事項としてあげた方が良かったような気がします。

全体として、研修生の受け入れの話から、この時間帯の問いに自然になっていきましたので、試験というより雑談という感じで、終始和やかでした。そんな雰囲気が、自分の表現できなかったことや、発音の悪さなどをカバーできたかなという気もしました。雰囲気に助けられた気もします。

面接に入る前、「試験官に楽しい時間を過ごしてもらえようようにしよう」と思って臨みました。この思いをもつことによって、あまり緊張しなかったのが良かったです。

試験官が優しい方だったこと、また質問事項が仕事に関連していたので話しやすかったことが私にはラッキーなことでした。

試験が終わってから、友人たちと話しましたが、どうやら英語の問題と重ならないようにしていたようです。

参考までに同じ時間帯の中国語の問題は、上記のことに加えて、

1. 来年から英語の授業が小学校5年生から始まりますが、このことについてどう思いますか？
2. 温泉の混浴時に注意することは何ですか？

邦文試験は、60点がボーダーラインということで、その点数をちょっと上回る点数を取ればいいという戦略で二ヶ月前に始める予定でしたが、実際、予定通りにいかなくて試験直前に各科目1日でやりました。(ハローの直前チェック事項です) 勉強不足もいいところですが、本当に運がよく合格できました。ありがとうございます。1次試験に合格したときに電報をいただき、とても嬉しかったです。今も毎日見えています。お礼が遅くなりましたが、本当にありがとうございました。